

みなん・にし地区 ええとご発見図



10 大森喜一先生頌徳碑
明治7年岡山市今村原に生まれる。大正12年には単会議員として県政に尽力した。昭和7年、南部の発展のため笹ヶ瀬川改修に着手し、幾多の困難を克服し昭和13年に完成した。



11 快神社
その昔、この近くへ玉野市八町の快神社のものと思われる木片が流れつき、快神社として祀った。地元の人からは「こころよしさま」と呼ばれている。



12 大賀邸
江戸時代に、備前・備中の国境の境目川をめぐって境界争いがあり、国境を標示する石碑が境目川の13ヶ所に建てられた。その内の一つが久米の西隣の東方往來(岡山藩官道)沿いに残っている。



14 今保港跡
江戸時代に備前と備中を繋ぐ河川交通の要衝(加子浦)として岡山藩港(今保港)が整備された。在郷商家の大買家は、備西部の特産品であった蕎麦の取引を始め富強に成長した。



13 かわいち
昔の人が洗いや洗濯をしていた場所。



17 久米村の国境石



2 白旗宮
1401年に近江国に祀られていた白旗宮を勧請してこの地に創建したと伝えられている。一時は洪水で流されたが、元の松之島に漂った。白旗宮の境内が松之島と書かれていることから、この辺りが海であったということがわかる。数千年かかって相川や笹ヶ瀬川が運んできた土砂が積み重なってできた島である。



3 狛犬
狛犬は、旧国道の東方往來の竹通の交差点の参道の入り口に鳥居と一緒に据えられていた。この鳥居は南海地震で倒壊したため現今村宮に戻している。



4 今村宮
1333年村を興いた人たちは、新しい村を守るお宮(鎮守)をつくり八幡宮といった。ところが、1580年に宇喜多直家が岡山城を広げる時に、お城の中の権の馬場にまつたお宮を今村の八幡宮と一緒に祀られて、今村宮となった。現在は単社となっている。



6 木野山様
明治時代になって、コレラや腸チフスなどの疫病がはやり感染する人が多くいて亡くなる人もいた。そこで、疫病の発生を防ぐとともに、病気がよく癒えることを願って、高梁の木野山様をお祀りしたと伝えられている。



8 今小学校跡地記念碑
この地区の大きな発展の礎となった今小学校の跡地を記念するために、平成25年11月に有志の人たちが記念碑を建てた。



9 日蓮宗今村教会所

第14回ふれあいウォーキング
コース約6km

- 岡山ドームコース 約7km
- 今村宮コース 約6km
- 蟹八幡宮コース 約5km

学区の境界線